

2025(令和7)年

ゆめじゅく

Merry Christmas

〒792-0821 新居浜市瀬戸町 7-30
TEL : 0897-41-5859 (Fax 兼用)
E-mail : seto@city.niihama.lg.jp

12月
December

12月の予定

★移動図書館青い鳥号
2日・16日(火)
15時10分～15時50分

★瀬戸会館年末大掃除
7日(日) 9時～10時30分

★回転木馬(瀬戸児童館)
10日(水) 10時～10時30分

★ゆめじゅく編集委員会
1日(月) 13時30分～

★ゆめ喫茶(100円モーニング)&抽選会
19日(金) 10時～(1月のゆめ喫茶はお休みです)

★人権・同和教育関係行事
★ふれあいフェスタ～ハート FULL 新居浜～
20日(土) 13時30分～15時30分
(新居浜市市民文化センター)

ふれ愛フェスタ
～ハートFULL新居浜～

2025年
12月20日(土)
13時30分～15時30分(開場13時)

新居浜市市民文化センター 大ホール

入場無料
事前申込不要
手話通訳・要約筆記あり

第1部
【子どもたちによる人権作文入選作品朗読】
差別への憤りと解消への熱意を、市内高校生が朗読します。

第2部
【講演】「あきらめない心」
世界最高峰のパフォーマンスと日本語ラップを組み込んだ心に響くメッセージをお聴きください。

講師/ちゃんへん.さん(プロパフォーマー)
2023年度 第74回全国人権・同和教育研究大会 特別分科会 講師
第50回ムーンパフェスティバル ベストパフォーマーアワード受賞
著書「ぼくは挑戦人」(2020年8月Amazon売れ筋ランキング1位)

ロビーにて開催 人権啓発コーナー 福祉バザー など

ゆめ喫茶のご案内

12月19日(金)は、人権に関するビデオを30分程度視聴した後、ささやかな「クリスマスプレゼント抽選会」を行う予定です。35食限定です。皆さまのお越しをお待ちしております。

大掃除について

日時：12月7日(日) 9時～10時30分(予定)
場所：瀬戸会館
ご参加・ご協力いただく皆さま宜しくお願いします。

令和7年度「であい展」&「オープニングセレモニー」を開催

今年は11月10日(月)のオープニングセレモニーで、オカリナ演奏、詩吟の発表会があり11日(火)はワークショップが行われ、たくさんのであいと交流に笑顔が見られました。

マクラメワークショップ体験

詩吟

オカリナ演奏

展示会場

作品

フラワーデザイン体験

人権のつどい日

11月の「人権のつどい日」は、新居浜市人権啓発指導員、小笠原忠彦さんに「子どもの人権～不登校について～」の演題でお話していただきました。

これまで「不登校」は個人の問題として捉えられていましたが、ここ数年の「不登校」児童生徒数の激増から、社会全体の問題として捉え直されてきています。その際、人権の視点(子どもにかかわる人権問題として)から「不登校」を捉えることが大切です。そこで、子どもを守るための「不登校」の解消について、どのような方法があるかを考える貴重な機会となりました。参加者からは多くの感想が、寄せられていました。その一部を紹介します。

教育は学校で行われなければならないと法的に記されていないと、聞いて、“はっと”しました。日本とフランスの不登校対応の違いにもびっくりしました。もっと公的機関が関わっていくべきだと思います。未来を支えていくのは、人であるから。

不登校・人権問題・差別問題、すべては『パーソナル イズ ポリティカル』だと思います。それを確認できたすごく意義のあるお話しでした。応急手当では、根本的な問題解決はしないと思います。

不登校を経験した子どもたちが考えた『不登校の子どもたちの人権宣言』は、心にくるものがありました。権利について本当にしっかり考えた宣言だと思いました。不登校の子どもたちについて考える根本になると思います。この宣言の思いを大切に子どもたちとかかわっていきたいと思います。

不登校児童・生徒数は増加の一途である今、学校だけの対応では限界を感じています。社会構造上の問題であったり、日本に昔からある価値観に縛られてしまったりしていることが、要因であることが再確認できました。子どもに関わる教職員は子どもファーストで考えなければなりません。その際に「子どもの権利」や「人権」の視点で改めて不登校を考えることが大切であるとわかりました。



小さな声が社会を変える

「車椅子は狭いエレベーターで場所を取って邪魔だ」、「混んでいる時、車椅子は危ないから乗車を避けたほうがよいのでは」などという周囲の人々の障がいのある人たちに対する無理解が大きな「障害」となっていることもあります。この意見に対して、「障がいのある人たちや老人は、ただ助けられるだけの存在なのではないでしょうか？」と疑問を投げ返したいと思います。むしろ障がいのある人たちや高齢者の存在によって、社会が支えられている側面がたくさんあるのではないのでしょうか。

その最も分かりやすい例が「駅のエレベーター」です。普段私たちは、駅にエレベーターがあるのは当たり前だと思って生活しています。でも、駅のエレベーターは“自然の流れ”で出来たのでも、鉄道会社や行政の“思いやり”で出来たのでもありません。地域に出た障がいのある人たちが、1970年代から『駅の段差をなくしてほしい。エレベーターを設置してほしい』と延々と陳情や運動を続けて、ようやく実現した成果です。それ以前は、行政も市民も、「障がいのある人たちのために、そんな高価な設備を付けるのは不可能だ」「なんてわがままな主張をする人たちなんだ」と考えていたそうです。しかし、1970年代から全国各地で巻き起こった障がい者運動（小田急線梅ヶ丘駅スロープ化運動等）によって、2000年に「交通バリアフリー法」（現・バリアフリー新法）などの法律が制定され、一定規模の駅や施設でのエレベーター設置が義務付けられました。

大切なことは、エレベーターが設置されて得をしたのが、障がいのある人たちだけではないということです。高齢者や、ベビーカーを押して外出する親、重たいキャリーバッグを引く旅行者など、エレベーターはさまざまな条件を背負った人たちの利便性につながっています。障がいのある人たちの切実な訴えには、こうした面があることを私たちは忘れるべきではないでしょう。最初は『なんてわがままな!』と反発さえ覚えた訴えが、結果的に社会全体をいい方向、豊かな方向に変えてくれることが往々にあります。

障がいのある人たちが生きやすい社会は、すべての人にとっても生きやすい社会でもあります。障がいのある人たち（当事者）が、声を上げ、「地域で暮らす」という実践に取り組んだからこそ、今日のようなバリアフリーや在宅福祉の制度の充実につながり、その恩恵をすべての人も日々享受していることを忘れてはなりません。



12月 瀬戸会館使用状況

※11月19日現在の予定を記載しております。

月	火	水	木	金	土	日
1 楠木クラブ すみれ ピンポン E Dance school fun	2 えんとつ山 ハンドメイド つまみ細工 詩吟 フラダンス レインボーB 書神会 E Dance school	3 水美会 みそひともじ倶楽部 空手	4 3B体操 どんぐり 紙バンド レインボーA エストレージャ よさこい	5 健康体操 ピンポン フラダンス	6 瀬戸児童館 マクラメ ポーセラーツ スクエアダンス	7 大掃除 掃除機 お掃除
8 楠木クラブ べっぴんさん ピンポン E Dance school fun	9 えんとつ山 ハンドメイド つまみ細工 詩吟 フラダンス レインボーB 書神会 E Dance school	10 水美会 オカリナクラブ 空手	11 どんぐり オカリナ小組 紙バンド レインボーA エストレージャ よさこい	12 健康体操 ピンポン 瀬戸児童館 フラダンス	13 瀬戸児童館 てんこく スクエアダンス フラワーデザイン	14 お団子 お茶 お団子
15 楠木クラブ すみれ べっぴんさん ピンポン E Dance school fun	16 えんとつ山 ハンドメイド 詩吟 フラダンス レインボーB 書神会 E Dance school	17 水美会 ポーセラーツ オカリナクラブ 空手	18 どんぐり 紙バンド レインボーA エストレージャ よさこい	19 健康体操 ゆめ喫茶 ピンポン フラダンス	20 小学生料理教室 ポーセラーツ	21 お団子 お茶 お団子
22 楠木クラブ べっぴんさん ピンポン E Dance school fun	23 ハンドメイド 詩吟 若葉会 フラダンス レインボーB 書神会 E Dance school	24 水美会 オカリナクラブ 空手	25 3B体操 どんぐり レインボーA エストレージャ よさこい	26 健康体操 ピンポン フラダンス	27 てんこく	28 お団子 お茶 お団子
29 お団子 お茶 お団子	30 お団子 お茶 お団子	31 お団子 お茶 お団子			瀬戸会館 HP QRコード	赤色:午前 青色:午後 黒色:夜間

瀬戸会館では、人権、健康、福祉、生活等の各種相談を行っています。お気軽にご相談ください。

